

## 週日の説教

金 大烈 神父 2011年5月17日(火)

### 《沈黙の音 ―心の中のイエス様の声を聞きましょう―》

1960年代にアメリカで流行した「沈黙の音―Sound of Silence」(ポールサイモン作曲作詞)という歌があります。聞いたことのある人も多いと思います。今でもよく歌われていて、時々耳にすることがあります。シンプルで単純なメロディなのにもかかわらず、心に残るものがある曲です。歌詞にはいろいろな解釈があるのですが、そのテーマは『疎外されている人々』や『社会的な問題に巻き込まれている人々』だと言われています。しかしまた、『人間の内面の声を聞くこと』だとも言われています。

今日の福音(ヨハネ 10・22-30)で、イエス様は、ご自分に従って来る人々を「わたしの羊」と呼んでいます。そして、「彼らは私の声を聞き分け、私に従う。」と言っています。では私たちはどうでしょうか。口では、「神様の言葉に耳を傾けます。」とか、「あなたのみ旨に適うよう頑張ります。」と言っていますが、本当にイエス様の言葉を聞いているのでしょうか。聞こうとしているのでしょうか。考えてみれば、ほとんどの方は、自信がないのではないのでしょうか。

『沈黙の音』というのは、心の中の音です。私たちは、自分が何を望んでいるのか、何を嫌っているのかさえ分からずに、過ごしているのではないのでしょうか。だから、いつも虚しい気持ち、目的に達しても空虚な気持ちで生きているのではないのでしょうか。

イエス様の言葉を聞こうとしても聞こえない時がありますが、聞きたくなくて自分から心を閉ざしてしまう時もあります。しかし、今日の福音でイエス様がおっしゃったように、永遠の命を得るため、まことの真理を体験するためには、聞きたくなくても、イエス様の声を聞かなければならないでしょう。そのためには、先ず心がうるさくしてはいけません。どんなに困難な環境にいても、心だけは自分で静かに落ち着かせる力が必要だと思います。

今は、心がうるさい時代です。どこに行っても、テレビを見ても、本を読んでも、インターネットを見ても、うるさいです。「うるさい」という言葉は日本人の口癖のようになっていて、いろいろなところで使われています。しかし、「うるさい」という言葉のまことの意味を考えるべきでしょう。必要な声に対しては、「うるさい」と言うてはいけません。正しいことを叫ぶ声は、うるさいように思えても、それを「うるさい」とは言いません。また、全然口を開かなくても「うるさい」と感じる場合があります。聞こえない雑音、聞こえない恐怖もあります。

自分の心をはっきり見て、中に入ろうとすることは、本当に静かな心でのみ可能なことです。だから、霊的に、『沈黙』という言葉は本当に意味深い言葉なのです。私たちは、『沈黙』なしに意見を主張することは絶対にできません。なぜならば『沈黙』のうちに正しい声が聞こえるからです。『沈黙』がなければ、イエス様のまこと言葉は正しく伝わって来ません。結局、『沈黙』というのは『祈り』

なのです。『祈り』なしに、目や頭だけで分かった全てのものは無駄なものだと思います。本当にきちんと落ち着いている心で、「私の希望は何であるのか」「何を恐れているのか」を確認する作業が私たち一人ひとりに必要なのだと思います。

今日のイエス様の話で、二つのことが明らかになっています。

一つ目は、先ず耳を傾けなければならない、ということです。そしてそれが本当に私の持ち主である主の声なのか、見極める必要があります。本当に主の声であれば、そのとおりにしなければなりません。結局、信者というのは何よりも聞く者なのです。耳を傾ける者なのです。

二つ目は、聞いたことを実践することです。今日の第一朗読（使徒言行録 11・19-26）で、アンティオキアのいろいろな人々の名前が出されましたが、その人々も心から聞こえる声、すなわちイエス様の声をきちんと聞いて、述べ伝えたのでしょう。だから、「アンティオキアだけでなく、世界中のいろいろな国、み旨の届く全てのところまで、惜しまずに行きます。」という告白が出来たのでしょう。

私たち日本の教会は、あまり宣教ができない、とよく言われます。それは、イエス様にきちんと耳を傾けていない証拠です。口では「宣教、宣教」と言いながら、教会の将来を心配しながら、何の動きもできないのは、イエス様の声をまだきちんと理解していないからでしょう。一度聞いてしまったら、どうしてもついて行きたくなるのが、イエス様のみ言葉の力だと思います。だから、聞かないように拒んでいる私たちの耳を改めるべきでしょう。

私たちは、いろいろな言い訳をして「難しいです」と言っていますが、結局は、耳を注いでいないことを認めるべきでしょう。だから、皆様、耳を傾けましょう。そして、そのために心を大事にしましょう。心をきちんと落ち着かせて、心から聞こえるイエス様のみ言葉に耳を傾けようとしましょう。私が一つだけはっきり申し上げられることは、「イエス様は、毎日、毎回、毎瞬、私たちに話しかけている。」ということです。

ありがとうございました。